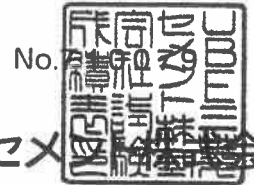


セメント試験成績表



2025 年 10 月度

UBE三菱セメント株式会社

種 類	品 質	普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高炉セメント B 種 JIS R 5211			
		J I S 規格値	試 験 成 績			J I S 規格値	試 験 成 績			J I S 規格値	試 験 成 績		
			平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)
密 度	g/cm ³	—	3.16	—	—	—	3.14	—	—	—	3.04	—	—
比表面積	cm ² /g	2500以上	3210	72	—	3300以上	4560	82	—	3000以上	3920	83	—
凝 結	水 量 %	—	27.9	—	—	—	30.1	—	—	—	29.9	—	—
	始 発 h-min	60min以上	2-12	—	(1-50)	45min以上	1-34	—	(1-25)	60min以上	2-48	—	(2-30)
	終 結 h-min	10h以下	3-16	—	4-15	10h以下	2-40	—	3-15	10h以下	4-09	—	5-40
安定性	バット法	良	良	—	—	良	良	—	—	良	良	—	—
圧縮強さ N/mm ²	1 d	—	—	—	—	10.0以上	26.8	1.50	—	—	—	—	—
	3 d	12.5以上	30.6	1.52	—	20.0以上	47.7	1.68	—	10.0以上	21.9	1.52	—
	7 d	22.5以上	45.0	1.66	—	32.5以上	58.6	1.82	—	17.5以上	34.7	1.70	—
	28 d	42.5以上	62.5	1.87	—	47.5以上	68.7	1.95	—	42.5以上	62.8	1.95	—
水和熱 J/g	7 d	—	329	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28 d	—	386	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
化学成分 %	酸化マグ ネシウム	5.0以下	1.23	—	1.63	5.0以下	1.02	—	1.53	6.0以下	3.41	—	3.92
	三酸化 硫 黄	3.5以下	2.40	—	2.67	3.5以下	2.96	—	3.34	4.0以下	2.14	—	2.25
	強 熱 減 量	5.0以下	2.59	—	2.81	5.0以下	1.16	—	1.38	5.0以下	1.67	—	2.15
	全 アルカリ	0.75以下	0.48	—	0.61	0.75以下	0.47	—	0.63	—	—	—	—
	塩化物 イオン	0.035以下	0.020	—	0.029	0.02以下	0.010	—	0.015	—	0.012	—	—

- 備 考
- ポルトランドセメント（全アルカリの最大値のうち直近 6 ヶ月の最大の値）
 - ・普通ポルトランドセメント…………… 0.61%
 - ・早強ポルトランドセメント…………… 0.64%
 - 高炉セメント B 種
 - ・ベースセメントの全アルカリ…………… 0.48%
 - ・高炉スラグの分量…………… 40～45%
1. 試験方法は JIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203、JIS R 5204 による。
 2. 28d圧縮強さおよび28d水和熱は前月度の値を示す。



10/1



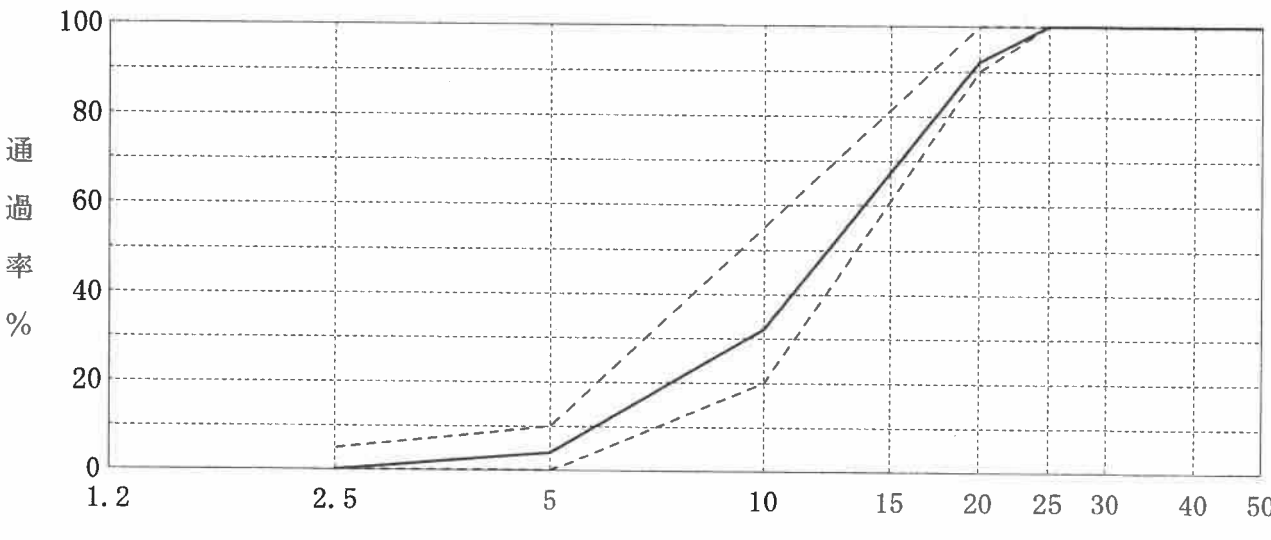
◎ お問い合わせその他のご連絡先

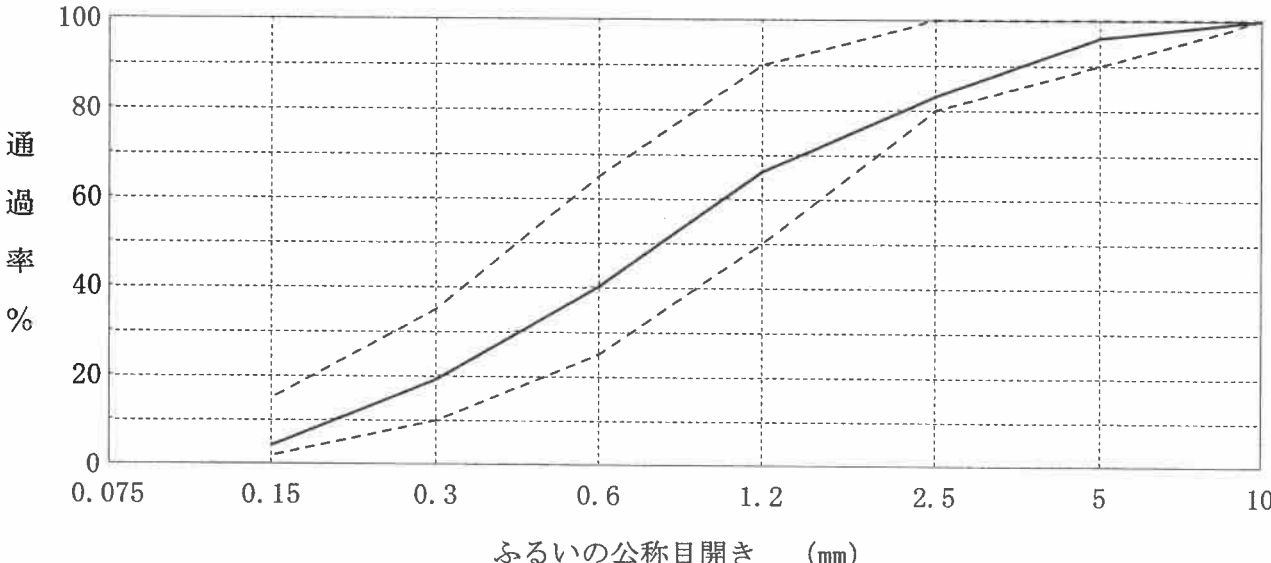
〒730-0031 広島市中区紙屋町 2-1-22

広島興銀ビル 8 F

UBE三菱セメント株式会社
中国支店

TEL 082-247-9613

試験規格	骨材のふるい分け試験表					検 印 欄		
JIS A 1102						主 任	試験係	
								
試験月日		令和 7年10月 3日						
試 料	産地品名		津山市加茂町知和					
	採取月日		令和 7年10月 2日					
	採取場所		ダンプトラック上					
ふるい分け前の試料の質量			5065.8 (g)			ふるい分け方法		手動
ふるいの 公称目開き (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる 試料の質量及び質量分率		各ふるいにとどまる 試料の質量及び質量分率		各ふるいを通過 する質量分率 (%)	範 囲 上 限 下 限 (%)		
	(g)	(%)	(g)	(%)				
50	0.0	0	0.0	0	100	100	100	
40	0.0	0	0.0	0	100	100	100	
30	0.0	0	0.0	0	100	100	100	
25	0.0	0	0.0	0	100	100	100	
20	396.2	8	396.2	8	92	100	90	
15						-	-	
10	3044.6	60	3440.8	68	32	55	20	
5	1403.0	28	4843.8	96	4	10	0	
2.5	218.0	4	5061.8	100	0	5	0	
受皿	0.0	0	5061.8	100	0			
合 計			5061.8	100				
粗 粒 率		6.72	規 格 値		6.85±0.20	判 定	⊕	
ふるい分け前後の試料質量差		0.1	規 格 値 (%)		1.0未満	判 定	⊕	
粒 度 曲 線  ふるいの公称目開き (mm)								
備考：								

試験規格		骨材のふるい分け試験表								検 印 欄			
JIS A 1102										主 任		試験係	
													
試験月日		令和 7年10月 3日											
試 料		産地品名		津山市加茂町知和									
		採取月日		令和 7年10月 2日									
		採取場所		ダンプトラック上									
ふるい分け前の試料の質量				504.5 (g)				ふるい分け方法		手動			
ふるいの 公称目開き (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる 試料の質量及び質量分率				各 ふ る い に とどまる試料の 質量及び質量分率		各ふるいを連続するふるい の間にとどまる 通過するものの質量分率		範 囲 上 限 下 限		参 考 A√d 300		
	縮分① (g)	縮分② (g)	縮分 mr(g)	計 (%)	(g)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)			
10	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	100	0	100 - 100	---			
5	17.7	0.0	17.7	4	17.7	4	96	4	100 - 90	228			
2.5	67.3	0.0	67.3	13	85.0	17	83	13	100 - 80	161			
1.2	86.0	0.0	86.0	17	171.0	34	66	17	90 - 50	114			
0.6	65.5	64.7	130.2	26	301.2	60	40	26	65 - 25	81.1			
0.3	53.0	54.2	107.2	21	408.4	81	19	21	35 - 10	57.4			
0.15	36.8	37.2	74.0	15	482.4	96	4	15	15 - 2	40.6			
受皿	10.2	10.9	21.1	4	503.5	100	0						
合 計	503.5			100									
粗 粒 率				2.92	規 格 値		2.90±0.15	判 定		◎			
連続するふるいの間にとどまるものの質量分率				規 格 値 (%)		45未満		判 定		◎			
ふるい分け前後の試料質量差				0.2	規 格 値 (%)		1.0未満		判 定		◎		
粒 度 曲 線													
													
ふるいの公称目開き (mm)													
備考：													



試 験 報 告 書

株式会社 ふじもと組 殿

岡山県津山市加茂町小淵29-1

試験品内容：[種 別] JIS A 5308:2024 附属書JA「レディーミストコンクリート用骨材」
JIS A 5005:2020「コンクリート用砕石及び砕砂」
粗骨材 コンクリート用砕石 2005 A (岩質：安山岩)
[大 き さ] 20～5mm
[採 取 日] 2024年11月29日
[産 地] 岡山県津山市加茂町知和
[採 取 場 所] ストックヤード
[製 造 業 者] (株)ふじもと組

試 験 項 目： 1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法) ✓

受領日(試料持込日)： 2024年 12月 12日

試 験 日： 2024年 12月 12日 ～ 2025年 6月 25日

試 験 結 果： 次頁以降のとおり

特 記 事 項： 一

試験実施場所：一般財団法人 日本品質保証機構 関西マテリアルテクノ試験所 試験室

- (注) 1. 上記試験品は、試験申込者により試験実施場所へ持ち込まれたものである。
2. 試験品内容等については、試験申込者提出の試験申込書に基づき表記したものである。
3. 試験結果は当該試験品に対しての結果であり、製品すべてを保証するものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2025年 6月 27日

大阪府東大阪市水走3丁目8番19号
一般財団法人 日本品質保証機構
関西マテリアルテクノ試験所

所 長 井上 環

技術管理者 那良 時義



この試験報告書の転載、一部分の複製をするときは、事前に当機構の承認を受けてください。
尚、報告書には改ざん防止策を施しています。

一般財団法人 日本品質保証機構



7/3

1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）

(1)試験方法 JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。

・粒度調整した代表試料の粒度分布：粒度区分A

・湿度95%以上を確保した手段：吸取紙による被覆及び容器底面の水張り

(2)使用したセメント ・種別：普通ポルトランドセメント

・販売会社名：一般社団法人 セメント協会

・酸化ナトリウム(Na_2O) 0.27 %・酸化カリウム(K_2O) 0.38 %・全アルカリ量(R_2O) 0.52 %

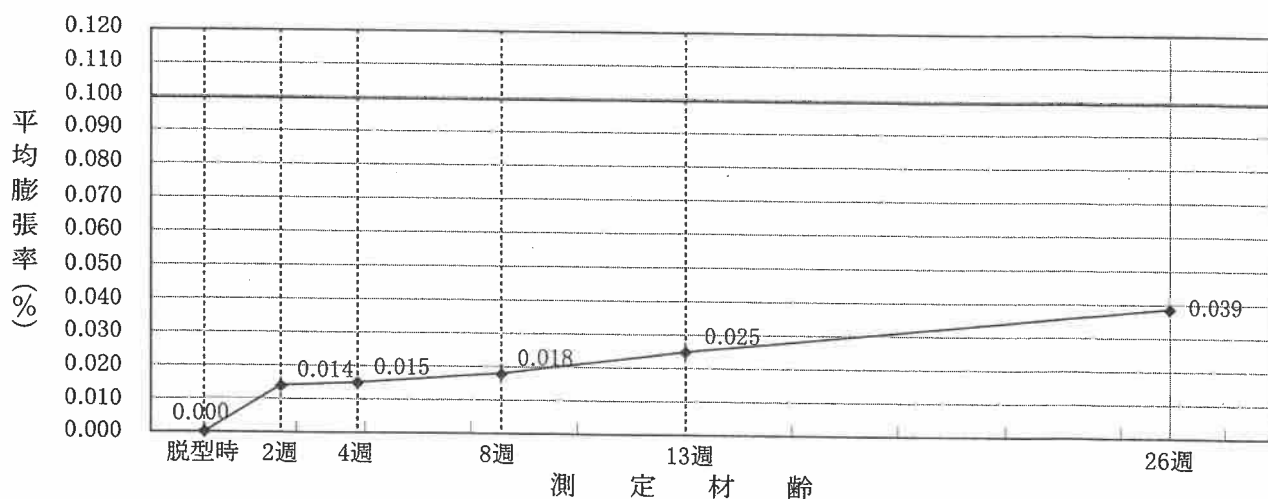
・水酸化ナトリウム水溶液を加えた後のセメントの全アルカリ量：1.2 %

(3)判定基準 骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、供試体3本の平均膨張率が、測定材齢26週で0.100%未満の場合は、「無害」とし、0.100%以上の場合は「無害でない」とする。

[備考] なお、測定材齢13週で0.050%以上の膨張を示した場合は、その時点で、「無害でない」としてもよい。測定材齢13週で0.050%未満のものは、その時点で、「無害」と判定してはならず、測定材齢26週まで試験を続けた後に判定しなければならない。

(4)試験結果

膨張率(%)	測定材齢 試験No.	脱型時	2週	4週	8週	13週	26週	判定
	1	—	0.015	0.015	0.018	0.025	0.040	
	2	—	0.014	0.016	0.019	0.026	0.039	
	3	—	0.013	0.014	0.017	0.023	0.038	
	平均	0.000	0.014	0.015	0.018	0.025	0.039	
外観観察		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	無害 ✓





骨材のアルカリシリカ反応性試験結果報告書

【モルタルバー法】

JNLA登録試験事業者

ベルテクス株式会社 試験分析センター

福井県鯖江市二丁掛町7号6番地

TEL:0778-62-1000 FAX:0778-62-7723

発行責任者 センター長 小林 宏成

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

依頼者	会社名	鳥取県コンクリート製品協同組合																																															
	所在地	鳥取県倉吉市東巖城町12番地																																															
試験日		令和6年12月23日 ~ 令和7年6月24日																																															
試料	種類(岩種)	鋳物砂(5) 加工砂(95)		産地		鳥取県西伯郡大山町																																											
	採取日	令和6年12月10日		搬入日		令和6年12月12日																																											
	採取場所	ベルテクス(株)大山工場		採取者		高原 雅彦																																											
試験方法		JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。 ※試験に用いたセメント 種別 : 普通ポルトランドセメント 製造会社名 : 社団法人 セメント協会 酸化ナトリウム(Na_2O) : 0.27 % 酸化カリウム(K_2O) : 0.38 % 全アルカリ量 : 0.52 % ※水酸化ナトリウム水溶液を加えた後のセメントの全アルカリ量 : 1.2 %																																															
試験実施場所		ベルテクス株式会社 試験分析センター 福井県鯖江市二丁掛町7号6番地																																															
試験結果		モルタルバー法による試験体の膨張率 単位:% <table border="1"> <thead> <tr> <th>供試体番号</th> <th>脱型時</th> <th>2週</th> <th>4週</th> <th>8週</th> <th>13週</th> <th>26週</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>—</td> <td>0.007</td> <td>0.011</td> <td>0.014</td> <td>0.017</td> <td>0.018</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>—</td> <td>0.006</td> <td>0.011</td> <td>0.014</td> <td>0.017</td> <td>0.018</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>—</td> <td>0.007</td> <td>0.011</td> <td>0.014</td> <td>0.017</td> <td>0.018</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>0.000</td> <td>0.007</td> <td>0.011</td> <td>0.014</td> <td>0.017</td> <td>0.018</td> </tr> <tr> <td>外観観察結果</td> <td>—</td> <td>良</td> <td>良</td> <td>良</td> <td>良</td> <td>良</td> </tr> </tbody> </table>						供試体番号	脱型時	2週	4週	8週	13週	26週	1	—	0.007	0.011	0.014	0.017	0.018	2	—	0.006	0.011	0.014	0.017	0.018	3	—	0.007	0.011	0.014	0.017	0.018	平均値	0.000	0.007	0.011	0.014	0.017	0.018	外観観察結果	—	良	良	良	良	良
供試体番号	脱型時	2週	4週	8週	13週	26週																																											
1	—	0.007	0.011	0.014	0.017	0.018																																											
2	—	0.006	0.011	0.014	0.017	0.018																																											
3	—	0.007	0.011	0.014	0.017	0.018																																											
平均値	0.000	0.007	0.011	0.014	0.017	0.018																																											
外観観察結果	—	良	良	良	良	良																																											
判定基準		① 3本の平均膨張率が、26週後に0.100%未満の場合 : 無害 ② 3本の平均膨張率が、26週後に0.100%以上の場合 : 無害でない ※備考 材齢13週後に0.050%以上の膨張を示した場合は、その時点で“無害でない”としてもよい。その場合、26週の測定を省略できる。材齢13週で0.050%未満の場合は26週まで試験を続けた後に判定しなければならない。																																															
判定		無 害																																															
備考		「JIS A 5005 5.6 アルカリシリカ反応性」に基づき、本試験結果は、同一原石により製造された砕石および砕砂に用いることが出来る。 ※モルタルバー法による膨張率を裏面に示す。																																															

技術管理者 煤田 直也

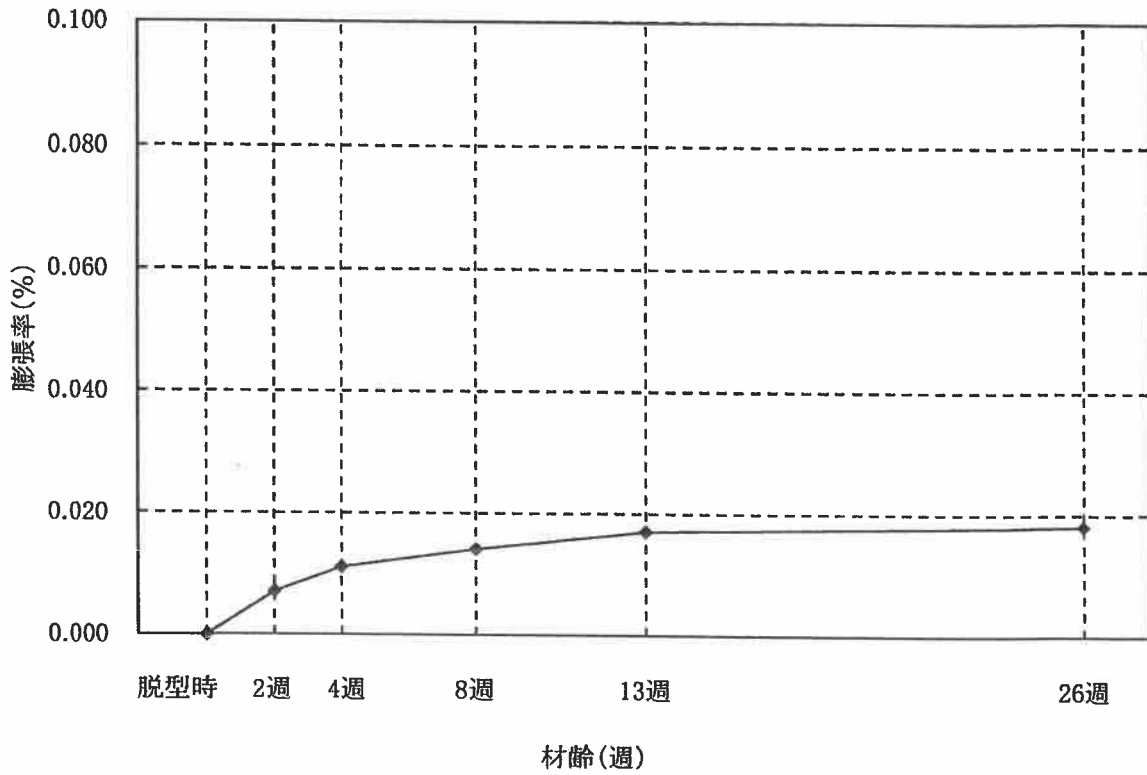
試験担当者 煤田 直也

<本書の取扱いについて>

- ・本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
- ・本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
- ・本書の内容を転載する場合は、文書により事前に本所の承認を得るようにして下さい。

参考資料

試験番号 A-24-5-0122-3 2/2



アルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)による膨張率



シカ・ジャパン株式会社

(株)きたむら

御中

2025年 7月度～2025年12月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

種 類 高性能減水剤 (I 種)

商 品 名 シーカ ビスコクリート ACE 390 (100%)



1. コンクリートの試験結果

	項 目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値
フレッシュコンクリート	減 水 率 %	12 以上	15 ✓	15
	ブリーディング量の比 %	— 以下	—	—
	ブリーディング量の差 cm^3/cm^3	— 以下	—	—
	凝結時間の差 分	始 発	+90 以下	-30 ✓
		終 結	+90 以下	-35 ✓
	経時変化量	スランプ cm	— 以下	—
		空気量 %	— 以内	—
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—
		材齢2日 (5℃)	— 以上	—
		材齢7日	115 以上	133 ✓
		材齢28日	110 以上	119 ✓
	長さ変化比 %	110 以下	94 ✓	—
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	— 以上	—	—

注記 1. 1m^3 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 7.00 kg/m^3 性能確認試験 7.00 kg/m^3 注記 2. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。ただし圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。注記 3. この表に表示している形式評価試験は、2024年 9月 に ボゾリス ソリューションズ 株式会社技術開発センター で実施した試験結果である。2. 塩化物イオン(Cl⁻)量及び全アルカリ量

項 目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	1m^3 当たりの化学 混和剤の使用量	試 験 値
塩化物イオン(Cl ⁻)量	0.02 kg/m ³ 以下	0.00 kg/m ³	0.00 %	7.00 kg/m ³	0.00 kg/m ³
全 アル カ リ 量	0.30 kg/m ³ 以下	✓ 0.03 kg/m ³	0.4 %	7.00 kg/m ³	0.03 kg/m ³

注記 1. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。注記 2. この表に表示している形式評価試験は、2024年 9月 に ボゾリス ソリューションズ 株式会社技術開発センター で実施した試験結果である。

3. その他の項目

項 目	規 格 値	試 験 値
密 度 (g/cm^3 , 20℃)	1.01 ~ 1.07	1.03 ✓

注記. この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。

コンクリート中の塩素イオン含有量測定データ (積みブロック)

株式会社 き た む ら

7年 10 月度

製 品 名 :

測定器具: ソルメイト 1 0 0



月 日	No.	コンクリート中の塩素 イオン含有量 (kg/m ³)	平均値 (kg/m ³)	規定値 (kg/m ³)	合否 判定
10/6	1	0.026	0.024	0.3以下	
	2	0.020			
	3	0.026			
10/14	1	0.028	0.023	〃	
	2	0.020			
	3	0.020			
10/20	1	0.024	0.025	〃	
	2	0.026			
	3	0.024			
10/27	1	0.020	0.021	〃	
	2	0.024			
	3	0.020			
	1				
	2				
	3				
備 考		測定器具は（財）国土開発技術研究センター評価品			

アルカリ総量計算

令和7年10月度

(積みブロック)

株式会社きたむら

鳥取県鳥取市国府町岡益64-4番地

配合

単位量(kg/m ³)				
水	セメント	砕石	砕砂	混和剤
175	324	1081	876	4.86

ポルトランドセメント全アルカリ6ヶ月間の最大値 0.61 %

骨材中のNaClの量 0.0 %

混和剤中の全アルカリ量 0.4 %

コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _c R _c = (単位セメント量kg/m ³) × (セメント中の全アルカリ量Na ₂ O _{eq} : %/100)	R _c = 1.976
コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _a R _a = (単位混和材量kg/m ³) × (混和材中の全アルカリ量: %/100)	R _a = 0.000
コンクリート中の骨材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _s R _s = (単位骨材量kg/m ³) × 0.53 × (骨材中のNaClの量: %/100)	R _s = 0.000
コンクリート中の混和剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _m R _m = (単位混和剤量kg/m ³) × (混和剤中の全アルカリ量: %/100)	R _m = 0.019
流動化剤を添加する場合は、コンクリート中の流動化剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _p R _p = (単位流動化剤量kg/m ³) × (流動化剤中の全アルカリ量: %/100)	R _p = 0.000
コンクリート中のアルカリ総量(kg/m ³): R _t R _t = R _c + R _a + R _s + R _m + R _p	R _t = 2.00

コンクリート中のアルカリ総量を規制する抑制対策 3.0kg/m³以下2.00 Kg/m³ < 3.0Kg/m³ 判定 適

以上